

# 緑小だより(臨時号)

## 令和4年度 緑小学校 学校評価アンケート集計結果

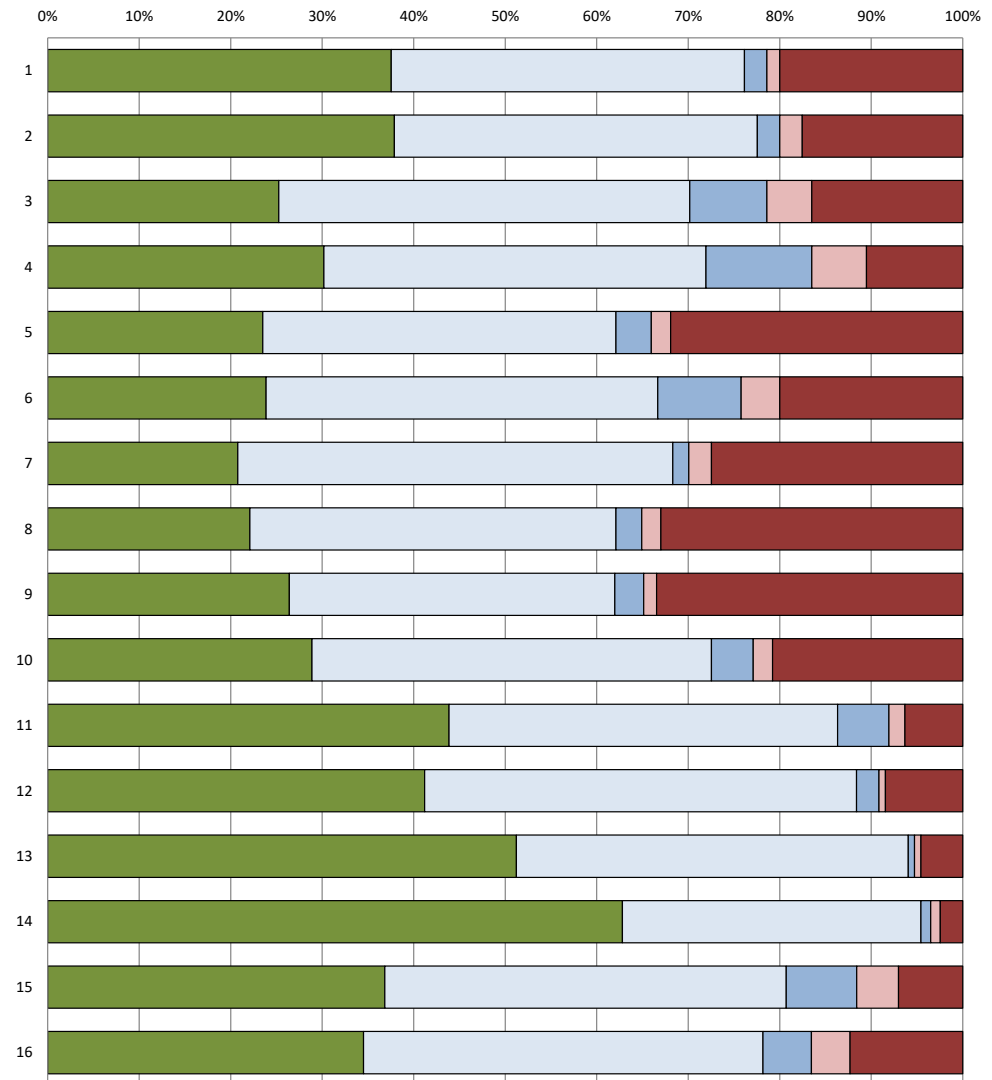
令和5年2月22日  
墨田区立緑小学校  
校長 川崎 貞昭

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。  
1月下旬に皆様にご協力いただいた評価の結果をお知らせします。 令和5年度の本校の教育活動に活かしていきたいと思っております。

集計総数 285  
提出割合 68%

- A・・・そう思う
- B・・・どちらかという、そう思う
- C・・・どちらかという、そう思わない
- D・・・そう思わない
- E・・・情報や事例が少ないので、分からない、判断できない

		A	B	C	D	E
各教科指導等	1	107	110	7	4	57
	2	108	113	7	7	50
	3	72	128	24	14	47
	4	86	119	33	17	30
	5	67	110	11	6	91
生活指導等	6	68	122	26	12	57
	7	59	135	5	7	78
	8	63	114	8	6	94
	9	75	101	9	4	95
	10	82	124	13	6	59
学校管理運営等	11	125	121	16	5	18
	12	117	134	7	2	24
	13	146	122	2	2	13
家庭地域連携等	14	179	93	3	3	7
	15	105	125	22	13	20
	16	98	124	15	12	35



### アンケートの結果から

今年度は、全体的にEの「判断できない」がかなり減りました。項目1・2では、前年度65%程度だった肯定的な意見が、80%前後まで伸びました。感染症への対策をしながらも、行事や学校公開を行えたことで、学校での子供たちの様子を見ていただく機会が増え、安心された保護者の方が多かったと考えられます。

項目5の地域人材の活用に関しては、前年度20%程度だったEの「判断できない」が、40%近くへ増加してしまいました。地域人材を活用した授業を見ていただく機会が少なかったためと考えられます。他にも、各学年で、がん教育、租税教室、サッカーや野球教室、パラスポーツ体験など、外部の人材を活用した授業を数多く行いました。これからも、地域人材を有効に活用していきます。

項目10では、昨年度はEの「判断できない」が約40%でしたが、今年度は20%ほどに減少しました。今年は、展覧会において、緑幼稚園や両国中学校、副籍で交流している特別支援学校の作品を展示できたことや、近隣の幼稚園・保育園と1年生や5年生の交流ができたことが考えられます。校内での異学年交流も、徐々に直接交流に変化していっています。より良い人間関係を築いていくためには、こうした活動が大切であると捉えています。皆様からいただいた学校評価のご意見を、今後の教育活動に生かしていきます。裏面に、いただいた自由意見も載せておりますのでご確認ください。

## 学校評価アンケート自由記述欄のご意見

多くのご意見を頂きましてありがとうございます。紙面の都合上未掲載の場合はご容赦ください。

### 学習・タブレット等

○タブレット端末を利用した授業については、子供の頃からデジタルな環境に触れられ、今後の役に立つことと思います。一方で、タブレット端末は子供にとって性能のよいおもちゃにもなりうるので、授業中の集中力の維持が難しい点もあるように見受けられました。家庭の方でも、使い方やモラル面のサポートをしたいと思います。

→ タブレットについては、今後も活用を図ると共に適切な扱い方について全体で指導していきます。

○学級閉鎖や感染症などの理由で自宅待機になった時のリモート授業があれば助かります。

また、DX化へ向けた対応をお願いできるボランティアなど募集してはどうか。

→ 学校では学級閉鎖時などに、オンラインにて朝の会や課題の配布、解説などを行っています。今後につきましても、現在配置されているGIGA支援員を有効活用し、学びの保障を拡充すべく前向きに取り組んでいきます。ご提案ありがとうございます。

△美術館や博物館から学芸員の方を招いた出張授業があるとのこと。北斎美術館や江戸東京博物館があるのですから、芸術や歴史文化に触れる機会を、と思います。

→ 感染症対策により、外部人材の受け入れを慎重にしておりましたが、徐々に戻していきます。

△朝の読み聞かせや長期休暇前の図書貸し出し、読書週間など本に触れる機会はあると思いますが、子供がなかなか読書に興味を持たないのが気になっております。自宅で漫画は読みます。読書の楽しさに気付けるきっかけがあればと思います。

→ MBC7の読み語り、親子読書の取組、図書委員会の本の福袋、読書ビンゴなど、今後も継続しながら読書活動推進に努めていきます。

### 生活について

○コロナ前は飯盒炊飯とか魅力的なイベントがありました。今は制約があるなかですが、そのなかで学校も子供も工夫して、楽しみをみつけて、適用しているので、よかったなと思います。タブレット授業もこれからの時代に必要ですので、時代にあった学校生活をよろしく願います。

→ ありがとうございます。今後とも感染症の状況を鑑み、学校生活や行事などを充実させていきます。

○いじめや陰口の無い環境下で、子供達が伸び伸びと安心して過ごせる事が…学校では何より1番の要だと思います。その点、緑小は風通しよく、教師の目が行き届いていると感じています。

日頃の努力、子供達への愛情に感謝しかありません。→ 今後とも早期発見、対応に努めます。

○緑小学校は、いじめ対策やスクールカウンセリング、学びの教室等、心のケア含めいじめ対策は早くしっかりしている事に感謝しております。→ 今後とも早期発見、対応に努めます。

△先生からの報告で、子供がいじめにあっているのではないかと不安になることがあります。

いじめについては、学校でも許されないこととして泰然とした態度で教育して頂きたいです。

→ ご心配をおかけしております。日頃より軽微なことでも保護者の方への報告をするように努めております。今後ともご家庭との情報共有を早期に行うと共に、いじめに対して厳しく指導していきます。

### コクーについて

△連絡帳を使用しなくなったようで、先生へ伝達したい事などを連絡しにくくなった。子どものタブレットから先生も保護者が連絡を取り合えるような環境を作ってほしい。

→ 教員への連絡につきましては、ぜひ連絡帳もご活用ください。タブレットでの教員個人との連絡については、服務事故防止の観点もありますので見合わせております。ご理解の程願います。

## 年間行事・公開について

- コロナ禍で模索しながら行事を再開してきてくださっている先生方には大変感謝しています。
- 公開授業は、工夫されたとても楽しい授業で、親の私まで見入ってしまいました。  
展覧会もとても見応えがあり、子供にとっても感性を育む良い機会になったと思います。
- 学校の様子を見られる機会が昨年よりも増えてとても良かったと思います。学校公開や展覧会も混み合わず見られました。
- コロナで音楽会など発表の場がなくなってしまったのが残念です。今回の展覧会は、久しぶりに子供たちの活動の様子が見られ、うれしい気持ちになりました。制作途中の写真を掲示して下さりありがとうございました。  
→ 保護者、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。
- 子供がお祭り広場を動画でなくやりたい…と話しており、なかなか難しいかもしれませんが実現できればと思いました。→ 状況を鑑みながら、前向きに検討します。
- △以前の学校公開では、休み時間の子ども同士のやり取り等を見て、普段の学校生活をイメージすることができました。コロナ禍となり、限定的な公開となったため、日常でのひとコマを見聞きできないのを残念に思っています。→ 状況を鑑みながら、前向きに検討します。
- △安全面について、不審者が入らないような配慮が乏しいように感じます。本日の学校公開も誰でも入りやすく警備もなく心配でした。  
→ご心配をおかけしました。公開につきましては、入り口を一か所にして必ず受付に人を配置しています。また保護者の皆様にも名札を付けるなどご協力を頂いています。今後とも安全管理に努めます。

## ホームページ・情報発信

- △お便りの情報がもう少しまとまりがあると助かります。よろしく願います。  
→ 今後とも学校だより・学年だよりの内容の精選、配布物やコクーでの連絡の精選に努めます。
- △学校評価について、アンケート項目の内容についても知らないことが多く、もっと情報発信してもらえればと思いました。→ ホームページ含めて、定期的な情報発信に努めていきます。
- ・保護者から担任や学校に対してご意見申し上げる場はないでしょうか？（個別面談以外で）  
→ 気になることがありましたら、随時担任や副校長宛ご連絡ください。よろしく願います。

## 先生方へ

- △担任によって授業の品質がかなり異なるのが気になります。  
→ 日頃より教材研究・授業準備、また区や校内の研究会の参加、管理職の授業観察を行い授業力向上に努めております。お気付きの点がございましたら、ご相談ください。
- 学校全体のイメージ含め、先生方に温かな人材も多く有り難く感じております。生徒にも保護者にも、丁寧な寄り添う姿勢は本当に凄いことですし、緑小学校に通わせていただけ良かったと感じております。→ ありがとうございます、教職員の励みになります。今後も一層努力していきます。